

# エクストリームチャレンジ in 四国の右下2005

## 大会レポート

大会1日目。晴天。スタート会場となる、吉野川市役所に、参加者が集まってきた。今回のレース、北海道、関東、東海、関西、そして四国と全国各地から、集まってきた粒ぞろいのメンバーである。そして、10チームなので、なんとなくアットホームな雰囲気も感じられる。レースは、正午過ぎにスタートした、最初のセクションは、旧鴨島町をめぐる、町内オリエンテーリング。町内にある5つのチェックポイントを、ほとんどのチームが走って通過していった。全てのCPを通過し、吉野川市役所へ戻り、次のセクション、マウンテンバイクへと進んでいった。

マウンテンバイクは、四国で一番有名といってもいい、お遍路の道を進んでいった。第11番礼所藤井寺の辺りから、各チームは尾遍路路に入っていった。最初の登りは担ぎがほとんどだが、随所に吉野川や四国の山々が一望できる場所もあったりする。お遍路の道を抜けた後半のマウンテンバイクは、山あり、藪ありといったセクション。明るいうちにこのエリアを抜け、CP11のふれあい公園に到着したチームは、わずか3チーム。マンダムK&ち牛。ルーズラバー♪ブラザーズ。うだまるたいすけが、ほぼ同時に到着した。なお、暗くなってもCP8にも到着していないチームが4チーム。お遍路の道の入り口を間違え、藪の中をMTBを担いで、彷徨っていたとのこと。3チームは自力で抜け出し、1チームは救出され、なんとかCP11のふれあい公園に戻ってきた。

1日目最後は、トレッキングのナイトセクション。CP14までの道が、舗装道路の長い長い登りのため、かなりのチームが体力を消耗した。CP14の船窪つつじ公園にトップで来たのは、ルーズラバー♪ブラザーズ。そこからの登山道には、青く光る高越寺（CP15）や高越山の下りなど、暗い夜道を下りていった。時間は夜の10時18分。ゴールにトップで戻ってきたのは、マンダムK&ち牛。その4分後にルーズラバー♪ブラザーズがゴール。この長い、コースの中で、大接戦を演じていた。CP14には、続々と到着するチームがいたが、限界にきているチームも多く、スタッフの車で下りるチームもあった。1日目、完全完走をしたチームは、上位2チームに加え、うだまるたいすけ。お遍路草かぶれ。の4チームだった。最後のチーム、ビターエンダーは、CP15こそ行かなかったものの、最後まで自力でゴールに向かい、翌朝3時41分。ゴールに戻ってきた。

大会2日目は、場所を移動して、高知県の大歩危エリア。1日目とは違ってかわっての雨の中行なわれた。全チームがバスに乗り込みスタート地点への向かう。くじで決められた2チームが合同で、ラフティングのボートに乗り込んだ。スタートは、1分おきのスタート。やや水かさが少ない吉野川だったが、力いっぱい漕いで行った。MOC岩原には、各チームが到着すると、次のセクションはトレッキング。桃源郷を思わせるこの地域の山々目指して、進んでいった。そして、再びMOC岩原へ最初に戻ってきたチームは、ルーズラバー♪ブラザーズ。3時間35分という圧倒的な速さだった。各チームかなり疲れている状況の中、最後の力を振り絞り、次々とゴールしていった。最終的に、2日間の完全完走チームは、1日目同様に、ルーズラバー♪ブラザーズ。マンダムK&ち牛。うだまるたいすけ。お遍路草かぶれ。の4チームでした。

今回、四国では初めてのレースということでしたが、大きな事故もなく終了することができました。途中、CPの配置違いなどあり、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしたところもあったと思います。かなりハードなコース設定になってしまい、きつかった部分もあるかと思いますが、今後の課題として受け止めたいと思います。本当に2日間お疲れ様でした。